

ちょっと昔のくらし探検



着物や制服を着た子どもたち(高森町) 1937年
荒牧 英男 氏 撮影



薪割りの様子(熊本市) 1964年
白石 巖 氏 撮影



干鰯つくりの様子(上天草市) 1965年
白石 巖 氏 撮影

- ・団体見学、体験学習及び出前授業等受付中！
- ・詳細は裏面を確認！



団体見学の様子

【会期】

令和8年(2026年) 1月6日(火)から3月15日(日)まで

【会場】

熊本県博物館ネットワークセンター
(宇城市松橋町豊福1695)

入場料
無料

開館時間：午前9時～午後5時まで 休館日：月曜日 (月曜が祝祭日の場合は翌平日)

主催：熊本県博物館ネットワークセンター 後援：熊本県教育委員会・宇城市教育委員会

第2回企画展 ちょっと昔の くらし探検

昭和30年代から昭和40年代にかけての高度経済成長期では、化学製品の普及で社会はこれまでにないスピードで変化しました。人々の生活も例外ではなく、様々な場面で機械や電化製品が使用されるようになると、生活のありかたや感覚も変化していきました。今回の企画展では、高度経済成長期以前まで普通に使われていた暮らしや仕事の道具を紹介します。昔の道具をとおして、ちょっと昔のくらしをのぞいてみましょう。

主な展示物

食事と暮らし

水道、家電製品やガス製品等が普及する以前の台所用品や買い物の仕方等を見てみましょう。



羽釜 (熊本市)



飯籠 (玉名市)

今の道具と何が違うのかな?



どうやって使うのかな?



住まいと暮らし

電気や石油ストーブ等が普及する前の照明や暖房用具等を見てみましょう。



ひで鉢 (西原村)



ブリキ湯たんぽ (八代市)

団体見学、体験学習及び出前授業等受付中!

熊本県博物館ネットワークセンターの民俗分野担当職員による展示解説や昔の道具を利用した体験学習及び学校等への出前授業等を随時受け付けています。また、授業等で活用できる資料の貸出も行っています。

申請方法や旅費等について詳しくは、お気軽に下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

出前授業の様子



体験学習の様子



※センター外での体験学習等の講師謝金は不用ですが、講師の旅費は必要です。
※センター内の展示解説や体験学習は無料です。



講師派遣（出前授業等）の申請方法等は
こちらから



団体利用（展示見学等）の申請方法等は
こちらから

アクセス情報



バス

- ①松橋駅から宮原、八代駅経由八代産交行きで「希望の里入口」下車徒歩3分
- ②八代産交から八代駅、宮原経由松橋行きで「希望の里入口」下車徒歩3分

JR

松橋駅から徒歩3km

車

松橋ICから10分

お問い合わせ先

熊本県博物館ネットワークセンター
〒869-0524 宇城市松橋町豊福1695
電話: 0964-34-3301
メール: hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp
HP: <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

熊本県博物館
ネットワーク
センターHP

